

三菱UFJフィナンシャル・グループ

URL: https://www.mufg.jp/ 証券コード:8306

MUFG通信

2023年度中間期 (2023年4月1日~2023年9月30日)

株主の皆さまには、平素より格別の お引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。



2023年度中間期の業績について

預貸金収益や手数料収益が着実に増加するなど、顧 客部門を中心とした稼ぐ力の向上により、本業の利益 を表す業務純益が1兆857億円、最高益であった前年 度から1.905億円の大幅増益となりました。

親会社株主純利益は、業務純益の増加に加えて、米 国子会社のMUFGユニオンバンクの売却に伴い前年度 に計上した一時的な損失がなくなったことや、モルガ ン・スタンレーの持分法適用決算期の変更等による増 益要因もあり、前年同期比6.961億円増加の9.272億 円となりました。これは中間期として過去最高益であ り、通期業績目標1.3兆円と中期経営計画のROE目標 7.5%の達成が、十分視野に入ってきました。

1株当たり配当金は、期初予想通り、中間配当を 20.5円、年間の配当予想を前年度から9円増配となる 41円とします。併せて、資本効率性改善の観点から 半期としては過去最大の総額4,000億円を上限とする 自己株式取得を決議しました。

持続的な成長に向けて

現在の中期経営計画では、「世界が進むチカラにな る。|というパーパスのもと、「挑戦と変革の3年 間|と位置付け、「企業変革|・「成長戦略」・「構 造改革 | を戦略の3本柱に掲げてさまざまな施策を実 行してきました。

成長戦略と構造改革では、各種の施策が進捗し、業 務純益は当初計画を大きく上回って推移しています。

成長戦略の一つであるアジアビジネスにおいて、アジ アの成長や拡大するデジタル金融ニーズを多角的に取 り込むために実施した複数の出資や買収案件が完了 し、今後の成長に向けた事業ポートフォリオを拡充し ました。

企業変革では、サステナビリティへの取り組みとし て、「MUFGトランジション白書2023」を発刊しま した。カーボンニュートラルに向けた日本のトランジ ション計画の透明性を高めるために、白書の発信を通 じて、国際社会における理解促進を図っています。

また、モルガン・スタンレーとの戦略的提携では、 これまでも投資銀行業務からウェルスマネジメント、 資産運用等の分野に協働領域を拡げてきましたが、既 存の協働領域の深化に加えて新たな領域でも協働し、 今後数十年に亘って続く、更に強靭なパートナーシッ プである「アライアンス2.0」へと深化させていきま す。

来年4月から始まる次期中期経営計画では、経営環 境が大きく変化していく中で、パーパス経営、ROE重 視の経営を維持しながらも、成長に向けた投資とビジ ネス基盤の強化にも取り組み、攻めの姿勢とスピード 感をもって「成長」を取りにいく3年間にしたいと考 えています。そして、分断が進む時代に、金融とデジ タルの力で世界をつなぐ存在になることで、パーパス の実現をめざしていきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご 支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

取締役

^{取締役} 代表執行役社長 グループCEO **毛澤 宏 規**

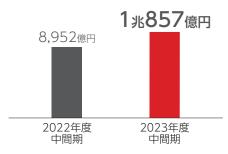
2023年度中間期決算ハイライト

決笪のポイント

- ▶連結業務純益は1兆857億円。中間期としては過去最高益を更新
- >実質的な親会社株主に帰属する中間純利益は9.272億円。通期業績日標対比71%と高進捗
- ▶ 普通株式等Tier1比率*1(規制最終化ベース・有価証券含み益除き*2)は10.5%と、十分な水準を維持
- ▶1株当たり年間配当予想は、期初予想の通り、前年度比9円増加の41円と過去最高の引き上げ幅

連結業務純益

-般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前)



(前年同期比 1,905億円増加)

預貸金収益や手数料収益が増加するな ど、顧客部門を中心とした稼ぐ力の向 上により、連結業務純益は前年同期比 1,905億円増加の1兆857億円とな り、最高益であった前年度から大幅増 益となりました。

親会社株主に帰属する 中間純利益



(前年同期比 6,961億円増加) (通期目標 1.3兆円)

業務純益の増加に加え、MUFGユニ オンバンクの売却に伴う一時的な損失 がなくなったことや、モルガン・スタ ンレーの持分法適用決算期の変更等に よる増加要因もあり、親会社株主に帰 属する中間純利益は、前年同期比 6,961億円増加し、中間期としては過 去最高の9,272億円となりました。こ の結果、通期業績目標1.3兆円と中期 経営計画のROE目標7.5%の達成が十 分視野に入ってきました。

*3 MUFGユニオンバンクの売却に伴う一時的な損 失を含む

普通株式等Tier1比率^{*1}

(規制最終化ベース・有価証券含み益除き^{*2})



2021年度末 2022年度末 2023年度 中間期末

> (前年度末比 +0.2ppt) (目標 9.5%~10.0%)

10.5%と引き続き十分な水準を確保 しています。

- *1 財務内容の健全性を表す指標で、銀行が金融危 機時においても業務を継続するために必要な、 損失吸収力の高い自己資本(普通株式や内部留 保など)を、リスクアセットで割ったもので
- *2 バーゼルⅢ規制見直しの最終化によるリスクア セット増加影響を反映させた試算値です。その 他有価証券評価差額金を除きます。

株主還元

1株当たり配当金は、期初予想の通り、中間 配当を20.5円、年間の配当予想を前年度比9 円増加の41円とします。また、資本効率性 改善の観点から、4,000億円を上限とする自 己株式取得を決議しました。

▶決算の詳細は

こちらをご覧ください





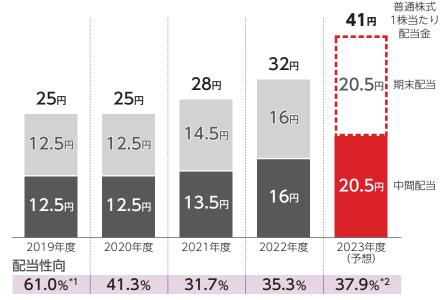
こちらをご覧ください



▶MUFG Report 2023 (統合報告書)

(2023年7月発行) 経営に関する重要な情報は こちらをご覧ください





自己株式の取得価額の総額

約1,500億円 約4,500億円 約4,000億円 約500億円

- のれんの一括償却による影響を控除した配当性向は37%
- 現会社株主純利益目標1.3兆円を前提とした試算値。モルガン・スタンレーの持分法適用 決算期の変更影響(試算値)を除いた場合の配当性向は、<mark>約40%</mark>

トピックス

2021年度から2023年度までの中期経営計画では、環境の変化に応じたビジネスモデルを作り上げ、「金融とデジタルの力で未来を切り拓くNo.1ビジネスパートナー」となることをめざしています。

その実現に向けた企業変革の取り組みとして、「環境・社会課題解決への貢献」、「カルチャー改革」、「デジタルトランスフォーメーション」の進捗をご紹介します。

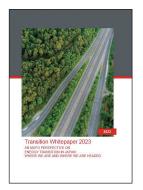
環境・社会課題解決への貢献

「MUFGトランジション白書」「アジア版白書」を発行

日本がカーボンニュートラルを実現するうえで重要となる技術を「MUFGトランジション白書2023」にまとめて発行しました。

また、アジアの脱炭素化にも寄与するべく、MUFG主要グループ会社と連携のうえ、インドネシアとタイの脱炭素の取り組みを紹介した「MUFGアジアトランジション白書2023」(アジア版白書)も発行しました。

こうした白書を通じ、日本を含むアジアのカーボンニュートラルに対する国際的な理解を高めることで、お客さまのトランジション支援に貢献します。



▶ MUFGトランジション白書



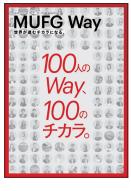
▶ アジア版白書

カルチャー改革

「MUFG Way Boost プロジェクト」

MUFGのパーパス「世界が進むチカラになる。」を実現するため、当社の活動指針である「MUFG Way」に共感し、体現する社員を増やす取り組みとして、昨年から「MUFG Way Boost プロジェクト」が始まりました。

MUFG Wayを伝播したいとの熱い想いをもつ社員がアンバサダーとなり、発掘した「MUFG Way 体現者」を、冊子や動画等、各媒体を通じて社内外に紹介しています。



▶MUFGの活動指針を体現する社員の想いや活動をまとめた「MUFG Way 体現者ブック」を刊行



デジタルトランスフォーメーション

「株式会社Progmat」の設立

三菱UFJ信託銀行では、セキュリティトークン^{*1}やステーブルコイン^{*2}といった、デジタルアセットの流通インフラの開発を進めてきました。

デジタルアセット市場の本格的な拡大のためには、他社とも連携し、利便性の高いインフラを構築する必要があります。そこで2023年10月に、より中立性の高い事業体として、他7社と共同で「株式会社Progmat」を設立しました。

MUFGは、日本のデジタルアセット市場の発展と競争力の向上に貢献していきます。





MUFG

三菱UFJ信託銀行

prog///at



NTTDATA



*1 セキュリティトークンとは、ブロックチェーン等の電子情報処理組織を用いて移転することができる、有価証券の総称です。

*2 ステーブルコインとは、ブロックチェーン等の電子情報処理組織を用いて移転することができる、法定通貨と価値の連動等をめざす決済手段の総称です。

MUFGのホームページでは、経営戦略についてより理解を深めていただくため、さまざまなコンテンツを掲載しています。ぜひご覧ください。https://www.mufg.jp

個人投資家向けセミナー (2023年9月開催)



グループCFOの米花と、アナウンサーの住吉美紀さんが対談し、MUFGの「挑戦と変革」にまつわる5つのキーワードを掘り下げ、具体的な強みや戦略を説明しています。





モルガン・スタンレーとのアライアンス戦略の深化 (2023年7月発表)



2008年にMUFGとモルガン・スタンレーがグローバルな戦略的資本 提携を開始してから15年。両社はこの提携を、次の10年とその先を 見据えた「アライアンス2.0」へと深化させていきます。 本件についてモルガン・スタンレーのゴーマンCEOとMUFGのグループCEO 亀澤などが出演する動画をぜひご覧ください。

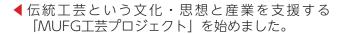
▶ 動画はこちらからご覧ください



MUFGの社会貢献への取り組み



MUFGは社会課題の解決に取り組んでいます。





▶東京都西東京市にある当社の保有施設を、「MUFG PARK」として一般開放しました。地域と社員が協働し、社会課題解決やコミュニティ形成につながるイベントを企画・実施しています。





株主総会資料の電子提供制度について

会社法の改正により、株主総会資料は原則ウェブサイト上でご確認いただくことになりました。 インターネットの利用が困難な場合等、株主総会資料を書面で受領されたい株主さまは、「書面交付請求」のお手続きをお取りいただくことで、書面でのお受け取りが可能になります。

2024年6月開催予定の当社定時株主総会におきましては、議決権行使基準日の2024年3月31日までに「書面交付請求」のお手続きを完了していただく必要がございます。

お手続き詳細は、お取引の証券会社または以下の三菱UFJ信託銀行(株主名簿管理人)までお問い合わせください。

お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル 0120-696-505 (通話料無料) (受付時間:土・日・祝日を除く平日9:00~17:00) https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html



株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、 以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部テレホンセンター

電話:0120-232-711 (通話料無料)

(受付時間 土・日・祝日を除く9:00~17:00)

株式に関するお手続き・よくあるご質問はこちら▶

https://www.tr.mufg.jp/daikou/





